

# 不滅

府中市民響

× 田部井剛

Tsuyoshi Tabei · 指揮

× 森下唯\*

Yui Morishita · ピアノ

シベリウス 交響詩「フィンランディア」 作品26

J.Sibelius: Symphonic Poem "Finlandia" Op.26

チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 作品23\*

P. I. Tchaikovsky: Piano Concerto No.1 in B-Flat minor Op.23

ニールセン 交響曲第4番

作品29 「不滅」

C. Nielsen: Symphony No.4 Op.29 "The Inextinguishable"

2026年

5月24日(日) 13:30 開場 / 14:00 開演

府中の森芸術劇場 どりーむホール 全席自由 1,000円 <当日券あり>

14:00 start, Sunday, May 24th, 2026 at Fuchu-no-Mori Theater "Dream Hall"

チケット  
の取扱い

窓口販売：府中の森芸術劇場 チケットセンター 042-360-4044 ※電話予約不可  
<窓口販売期間：3/2～5/23 10-18時> ※「チケットふちゅう予約センター」とは異なります

電子チケットサービス "teket" <https://teket.jp/8978/64368> ▶

<電子チケット販売期間：2/22～5/24 15時まで>



- 点字チラシとプログラムをご用意しております。詳細は当団 Webサイトをご覧ください。
- 小学校入学前のお子様のご入場はご遠慮ください。● 出演者へのプレゼントのお預かりはいたしません。

お問い合わせ：info@fuchu-cso.org / 大橋康廣 042-368-6180

主催：府中市民交響楽団 <https://www.fuchu-cso.org/> 後援：府中市 協力：点訳ボランティアてまり



京王線府中駅下車徒歩約7分

# ニールセン???

しかも「不滅」とは...怪しげなタイトル...。おおそ聞き馴染みのない作曲家であろう。北欧を代表するデンマークの作曲家で、同じく北欧では超有名なジャン・シベリウス（今回「フィンランディア」を演奏する）とは同じ年の生まれである。

私自身も正直のところ、ニールセンのどの作品もまともに聴いたことがなかった。団員の大半はそうだと思う。弾ぎにくいし、覚えにくい、気持ちよく歌えるメロディもあまりない...が、年が明けてから重い腰を上げて譜読みをし、練習を重ねるにつれて、何とも言えないクセになる楽しさ、を感じている。聴きどころはなんとと言っても、2人の奏者によるティンパニの連打!! 昨秋の演奏会ではほんの一瞬のトライアングルに命をかけたメンバーと、お休みを余儀なくされたメンバーが、今回はと・に・か・く 叩きまくるので乞うご期待。ニールセンは「音楽は生命である」との言葉を残しており、このティンパニこそが「生きる力」「不滅なるもの」の象徴なのだろう。

プログラム前半には、皆さまよくご存知で間違いなくお楽しみいただけるであろう、ピアノ協奏曲を。お隣の調布で長らく国際音楽祭を率いておられる森下唯先生をお招きしました。当団とご縁の深い田部井剛とは、2台6手のピアノアルバムで共演されています。どんなチャイコフスキーに仕上げてくださいるのか、団員も楽しみでなりません。

青葉香る府中の森へ、どうぞお出かけください。

デザイン：原田和香〈チェロ〉



## 指揮 田部井剛 *Conductor* Tsuyoshi Tabei

早稲田大学商学部卒業、東京音楽大学指揮科研究生修了、東京藝術大学指揮科卒業。これまでに指揮法を広上淳一、佐藤功太郎、遠藤雅古、三石精一、ジェームズ・ロックハートの各氏に、ピアノを岩津章子、秦はるひ、酒匂淳の諸氏に師事。藝大在学中には巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「五月の協奏曲」を日本初演、日本フィルを指揮。氏とは度々共演を重ね、2005年にはカメラータ・ジオンとの国内ツアーを行い、そのライブ録音が仏アンテグラル社よりリリースされている (Integral Classics France INT 221.156)。これまでに新日本フィル、東京フィル、東京シティフィル、群馬交響楽団、東京佼成ウィンドオーケストラ等を指揮。2006年にはチェコの名門、ターリビ室内管を指揮しモーツァルトの交響曲をレコーディング (STUDIO FLORA B-2704)。2010年には日本フィルにて文化庁主催公演 (計9公演) を指揮。アマチュアオーケストラとの共演も数多く2024年には高円宮妃殿下御臨席のもとJAO (日本アマチュアオーケストラ連盟) 東京大会を指揮。ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィルチェロ首席奏者、フリッツ・ドレシャル氏をはじめとする著名な音楽家と共演を重ねている。コントラバス奏者白土文雄 (チューリヒ・トーンハレ管弦楽団元首席奏者) とはHarmony社より「モノローグ」、Opus55より「Basso d'Amore」の二枚のCDをリリース、最近では青柳いづみ氏、森下唯氏とともにカブレ編によるドビュッシー作曲の「海」、ピアノ二台六手版をOTTAVAからリリース、レコード芸術にて特選となる。上毛芸術文化賞受賞。

## Piano Yui Morishita ピアノ 森下唯

ピアニスト・作編曲家。クラシック分野を中心に演奏活動をするほか、スタジオ・ミュージシャンとしても多くのレコーディングに参加。ほか、映像作品等への楽曲提供や文筆まで幅広く手がけている。

2004年、東京音楽コンクールピアノ部門にて第2位。2006年、東京藝術大学大学院修了時には修了演奏成績優秀者として浜離宮朝日ホールでのベーゼンドルファー・ピアノ・リサイタルシリーズに選ばれた。2007年、ニコニコ動画に投稿した演奏動画がランキング1位を獲得したことがきっかけとなり、ピアニート伯爵 (後に公爵) 名義で知られるようになり、2011年には同名義によりドワンゴ・ミュージック・エンタテインメントよりアルバム「Singularity -シンギュラリティ (特異点)-」をリリース。

2015年より、作曲家アルカンの作品を集めたソロアルバム「アルカン ピアノ・コレクション」(ALM RECORDS) シリーズを5年連続で発売し、レコード芸術誌の特選盤となったほか各所で高く評価される。アルカン作品の演奏者として、「題名のない音楽会」や「気ままにクラシック!」等のメディアにも出演した。

2020年には青柳いづみ氏、田部井剛とともに2台6手のピアノアルバム「ドビュッシー《海》ほか」に参加。ゲーム、アニメのサウンドトラック、公式アレンジアルバム等でも多くの編曲、演奏を担当しており、2022年からはスクウェア・エニックス・ミュージックのYouTubeチャンネルでの演奏動画がよく視聴されている。

2024年には短編小説アンソロジーとクラシック、劇伴編曲、そして委嘱作品を組み合わせた5夜連続の2台ピアノコンサート企画「IMAGINARC 想像力の音楽」プロデュース。2025年には大阪・関西万博ウォータープラザの昼の水上ショー「水と空気のシンフォニー」の2台ピアノ編曲及び演奏を担当。同2025年、音楽を担当したVRアニメーション『Sen』が中国Sandbox Immersive Festivalにおいて Best Experience Award (体験賞) を受賞。

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。調布国際音楽祭アソシエイト・プロデューサー。東京藝術大学非常勤講師 (指揮科演奏研究員)。



© KEIKOHIRANO



Instagram:  
fuchu\_symphony



Facebook:  
fuchu.community.symphony

SNS 毎週更新中・練習風景をご覧ください!